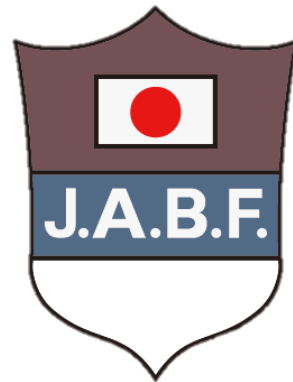


新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関する基本方針
大会開催における安全対策／実施計画
(改訂案)



一般社団法人 日本ボクシング連盟

目次

1. 全般的な事項
2. 会場準備・運営に関する対策
3. 参加受付時、健診・計量時の対応
4. 競技会参加者への対応
5. 選手がウォームアップを行う際の留意点
6. 試合を行う際の留意点
7. 参加前後の留意事項・感染者の対応について
8. 大会中止の判断基準

1. 一般的な事項

- 出場チームとは、出場登録選手、監督、コーチおよび引率者だけでなく、活動や移動行程等を同一とする出場登録選手以外の練習を共にする者およびチーム関係者（トレーナー、運転手等）も含む。但し、同一団体であっても活動や移動行動や練習等を同一にせず、試合選手の試合直前のアップとセカンド業務のみに係る場合はマスクや消毒の感染症対策を行っている場合はチームとして扱わない。
- 大会参加者とは、各チーム、役員、補助員、報道機関、招待者、視察者、競技団体関係者、スポンサー、開催自治体関係者、出店者、観客等、来場する全ての者をいう。
- 大会参加者は全員、大会参加10日前からの健康状態についての「※1 健康チェック確認書 兼 参加承諾書」を大会参加初日に記入しチーム代表者に提出する。
- チーム代表者は大会参加初日から参加期間中毎日の「※2 コロナ対策代表者確認提出用紙」（チーム単位）を記入し提出する。
- オンライン（日本連盟HP・LINE オープンチャット）を使用した情報共有の整備（会議情報・変更情報・山型対戦表・結果等）
- 参加者は各自でマスクやタオルを十分に準備
- 大会参加者及びチーム代表者が記入・提出する用紙は、新型コロナウイルス感染状況の変化に応じて大会ごとに様式を定める。

2. 会場準備・運営に関する対策

- 大会会場内に医師を配置
- マスク着用・ソーシャルディスタンス指示イラストの掲示

- 会場内への 消毒ポンプ設置・ポンプ式石鹸を設置
- 会場内における一方通行の導入
- 一般用のゴミ箱の設置は行わずに各自で持ち帰りを原則とし、競技運営上のゴミは指定場所に、きつく結んで廃棄
- 場内に対戦表・山型等人が密集する可能性のある掲示物は掲示しない（対戦表・山型等は日連HP・LINE オープンチャットを通じて配信）
- 観覧席・会議席・待機席は約2メートル間隔（最低1m）で椅子を配置
- 空調の利用や窓の開放により換気を行う。また、大型扇風機等を活用して会場内の換気効率を高める。
- 開会式・閉会式・監督会議などは、コロナ感染の状況に応じて、密を避けたレイアウト設定のもと行う等の工夫をする。
- インテグリティ研修をオンラインで行う、密を避けたレイアウト設定のもと行う等の工夫をする。

3. 当日参加受付時、健診・計量時の対応

- 健診・計量セッション制導入（時刻表の事前通知）
- 手指消毒・検温実施後、各種提出用紙の提出（コロナ感染の状況に応じて、簡易リストバンド・IDカードにシール貼付け等の工夫をする。）
- 健診・計量のディスタンスの確保（検温・血圧脈拍測定等の長机で測定者同士との間隔をあける。）
- ドクターは診察時、マスク、ビニール手袋を着用
- 非接触型の体温計の使用・口腔内の診察省略

4. 競技会参加者への対応

- 選手、引率、役員、競技会場を訪れる関係者に、十分なマスクやタオルの準備を指示
- 入場者の受付での全員検温（サーモカメラ、非接触型体温計）、手指消毒・マスク着用の徹底
- 出場選手は大会参加初日に「※1健康チェック確認書 兼 参加承諾書」を各チーム代表者に提出する。
- 大会参加期間中は、各チーム代表者は「※2コロナ対策代表者確認提出用紙」（チーム単位）を毎日受付で提出する。
- 各チーム代表者は大会参加10日前から大会参加初日までの全員分の「※1健康チェック確認書 兼 参加承諾書」を競技終了後最低1ヶ月は保管
- 競技中に大きな声での会話、応援等の自粛、発声以外拍手等での応援の推奨

5. 選手がウォームアップを行う際の留意点

- ウォームアップ場の入場制限（入場受付・引率人数の制限）
- ウォームアップ場内ではソーシャルディスタンスを意識したウォームアップを心がける（対人練習の禁止の推奨）

6. 試合を行う際の留意点

- アップ会場入退場、競技間セッション制導入（進行状況をオンラインで通知）
- 競技中の競技者以外は全員マスクを着用
- リング各コーナー下にうがい用水は置かない。グローピング室で支給された水を使用し、他選手との共有はしないようにする。

水を飲むことは可能だが、感染対策上、うがい廃液処理が困難なため、うがいを禁止とする。

※口腔内の出血や歯牙の損傷が疑われる場合・マウスピースが床に落ちた場合等、特別な事情の場合は開催地が準備したバケツを貸し出す

セカンドは責任をもって指定場所で廃水・洗浄・消毒を行い返却するようにする。

競技インターバル中にセカンドがタオルで送風することの禁止

競技終了後、対戦選手とセカンドの握手は自粛し距離を確保した挨拶をする。

グローブ・ヘッドガードなど選手が共有する用具は一試合ごとに消毒

各グローブ・ヘッドガードをどの選手が使用したか、使用記録を残す。

セカンドは競技中、ビニール手袋を着用する。手袋の使用は一試合ごととし、ビニール袋に入れて密閉して廃棄する。

試合またはセッションごとにコーナーポスト・ロープなど消毒

アナウンスマイク・ストップウォッチ・ゴング機材 担当者交代ごとの消毒

7. 参加前後の留意事項・感染者の対応について

1) 提出書類の保管について

①新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合に備え、実行委員会は大会参加者が提出した書類を1ヶ月間保管しておく。

②大会参加者が大会終了後14日間以内に新型コロナウイルス感染症に感染した場合、実行委員会は各チーム代表者が保管している「※1健康チェック確認書 兼 参加承諾書」の情報提供を関係機関に対して行う。

2) 大会参加について

① チーム内に1名以上の「新型コロナウイルス感染症対策責任者（監督やコーチ等でも可）」を置き、「※2 コロナ対策代表者確認提出用紙」に記載したチーム代表者を責任者とする。新型コロナウイルス感染症対策責任者は、実行委員会、医療機関及び保健所等との連絡調整を担うとともに、チーム内での感染者対応や感染防止対策徹底の役割を担うこと。

②大会参加者の参加可否判断基準

- ・大会期間中の感染者、濃厚接触者、感染が疑われる症状のある者は参加を認めない。
- ・大会参加前における大会参加の可否は、大会期間から2週間前時点で「厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部」が定める「患者の療養期間」及び「濃厚接触者の待機期間」を基準とする。
- ・大会参加前日までに、上記基準に定める「療養解除期間」及び「待機期間」を満たした場合は、当該大会への参加を可能とする。
- ・大会参加10日前以降の期間において感染が疑われる症状があった者は、大会参加前日までに症状が改善している場合は、当該大会への参加を可能とする。なお、この場合の大会参加の判断は各チームの「新型コロナウイルス感染症対策責任者（チーム代表者、監督やコーチ等でも可）」の責任において行う。

③感染者、濃厚接触者、感染が疑われる症状のある者の基準

- ア. 感染者：医療機関においてPCR検査、抗原検査で陽性と診断された者
- イ. 濃厚接触者：医療機関及び保健所によって認定された者
- ウ. 感染が疑われる症状がある者：「※1健康チェック確認書 兼 参加承諾書」の確認項目に該当する事項がある者

3) 感染者、濃厚接触者となった場合の対応

- ・全ての大会参加者（出場チームおよび大会関係者を言う、以下同じ）は、大会期間中および大会参加10日前から大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症に感染した場合は、大会実行委員会に対して速やかに報告し、指示に従うこと。
- ・全ての大会参加者は、医療機関や隔離施設、宿泊施設、自宅までの移動や輸送は各自の責任で行うこと。特に感染者や濃厚接触者となった場合には公共交通機関やタクシーは利用できないため、移動手段を事前に想定しておくこと。

ア. 出場チーム

チームが出場を認められない場合や一部選手の検査、療養または帰宅が必要となった場合等の手段について、チーム関係者、所属団体、保護者等と事前に検討しておくこと。

イ. 大会関係者

参加が認められない場合や大会途中で検査、療養または帰宅が必要となった場合等の移動手段について、各チーム、所属団体、保護者、その他

関係者と事前に検討しておくこと。

- ・新型コロナウイルス感染症対策責任者は、参加する前に保護者やチーム関係者に対し、感染者等が発生した場合には、開催地における付添いや開催都道府県までの迎えが必要となる場合があることを周知徹底しておくこと。

4) 大会中止や出場禁止措置等に伴う経費負担

- ・本基準に基づき大会中止または出場禁止となることに伴い、出場チーム（選手、監督ほか関係者）や保護者、その他関係者が支払う PCR 検査料、治療費、宿舍キャンセル料、交通費などの経費については、原則として出場チームが負担するものとし、大会実行委員会は負担しない。

8. 大会中止の判断基準

- 1) 参加を認めない選手や欠場者、予選未実施等により出場選手予定数の33%を超える欠員が出た場合
- 2) 役員補助員等の欠員により大会運営に支障をきたす場合
- 3) 競技会場や練習会場が利用できなくなり大会運営に支障をきたす場合

参考資料

1. 「厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部」が定める対応基準（大会開催2週間前時点）
2. 日本スポーツ協会 スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン
3. 令和4年度全国高等学校総合体育大会実施時における新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する基本方針
4. 一般社団法人 日本ボクシング連盟主催「2022全日本ボクシング選手権大会」における競技運営方針